



ROTARY  
BRINGS  
HOPE

ロータリーは  
希望を  
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉男 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 78名 出席 52名 出席率 82.54% 前回出席率 58.73% 修正出席 51名 確定出席率 80.95%

## 台中港区扶輪社との第5回姉妹クラブ続盟式特集

### 市長メッセージ

本市の鶴岡ロータリークラブが御地を訪問するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

貴ロータリークラブにおかれては、結成以来、常に社会奉仕の理念に徹せられ、又、国際的視野に立って、国際理解と友好親善の掛け橋に大きな役割を果たしておられることに深甚なる敬意を表する次第です。

その間、鶴岡ロータリークラブと姉妹クラブの盟約を締結され、今日まで輝けるロータリアン精神にのっとり、友情と連帯を深めてこられ、更にこの度、姉妹クラブの盟約続盟証を交換されて、引き続き、ご厚誼を賜うことができますことは、誠にご同慶にたえません。

当鶴岡市においては、昨年6月、来るべき21世紀を展望した新総合計画を策定し「歴史と自然を生かし、個性豊かで活力に満ちた魅力あるまち鶴岡」の建設を目指して東北地方、山形県の中核都市にふさわしいまちづくりを推進して参りたいと考えており

ます。

このためには、十万市民の英知とエネルギーの結集が不可決の要件であり、今後全面的な国際化社会の到来が予想される中で、ロータリークラブのご活躍に期待するところ、実に大きなものがありますが、このたびの訪問を機に、貴港区との親善友好の輪が益々深まることは、実に有意義なことと存じます。

国際的理解と国際協調性を持つ市民が数多く育つことを念願すると共に、国際商港として確固たる基盤を築きあげておられる台中港区、並びに限りない躍進を続けておられる台中港区扶輪社の尚一層のご発展と貴職のご健勝を心から祈念し、メッセージと致します。

昭和62年2月

台中港区扶輪社

社長 鮑 國 器 殿

鶴岡市長 斎藤 第六

### 祝

親愛なる台中港区ロータリークラブの順調な御発展に敬意を表し、心からお喜び申し上げます。

本日貴クラブと私共の鶴岡ロータリークラブとの姉妹クラブ盟約を継続する続盟式典に、鶴岡クラブを代表して会員・家族20余名と共に参加出来ました事は、私にとって終生忘れる事の出来ない思い出であり、ここに祝辞を述べる機会を与えられた事を光

### 辞

山口 篤之助 君

栄に存じております。

今を遡る1975年3月8日に両クラブの先輩会員の真剣な御骨折りと、相互の理解が実を結んで姉妹クラブの盟約を交して以来12年間の永きに亘り、相互に交流を深め、信頼と友情の絆は年と共に益々強固なものに発展して参り、親戚以上のお付きあいをいただき、誠に感謝に堪えません。

庄内空港の建設を推進しましょう

そして昨年5月には、貴クラブ創立15周年記念式典にお招きをいただき、目のあたりに素晴らしく盛大な式典を見て感銘を深くした次第であります。特に児童生徒の書道、絵画作品の交換展示は、両クラブ会員以外の多くの方に国際親善の認識を高め、次の世代に国際友愛の輪を拡げた事として高く評価されるものと確信し、御協力下さった児童生徒の皆さまには、後刻貴クラブを通じて彰状と記念品を贈呈する所存でございます。

思えば、12年前の4月、桜花爛漫と咲き誇る鶴岡に貴クラブの社友でいらっしゃる現分区代理の呉金生先生をはじめ一行4人の方が来訪された時、初めて姉妹クラブが出来たんだなあ!! という実感が湧いたのであります。わけてもそれが海を越えて……と云う事が私たちの興味と関心をかき立てたのであります。

その当時の当クラブの元老たちは、多かれ少なかれ不幸な日中戦争にまき込まれた方が多く、戦後の荒廃の中で今日の日本の運命付けに偉大なる影響力を発揮された蔣総統の恩義に痛く感激致し、ご一行を心から御歓迎申し上げた思い出があります。時は移りてその元老たちの幾人かは今は亡く、黄泉の下から今日の契りを見守っておられる事を考えると、感慨無量であり、平和の有り難さと責任の重さをひしひしと感じさせられます。

私たちはこうした先輩たちの残されたロータリーの遺産を大切にしながら一層の努力を重ね、姉妹クラブという種木を枯らすことなく国際親善の理想を可能な限り拡げていく事を誓うものであります。

両クラブの情報の交換や奉仕活動のあり方の検討就中青少年の交流を促すことは最早時代の要請と申すべく、我が253地区では既に台湾南部の第347地区と、この3月と7月を目途に青少年の交流をする計画を進めております。



台中港區扶輪社  
日本鶴岡扶輪社  
姉妹社續盟同意書

國際扶輪社第三四六區中華民國  
台中港區扶輪社與第二五三  
區日本國鶴岡扶輪社經雙方同  
意依西曆一九七五年三月八日  
所締結姊妹社結盟同意書第二  
條之規定延長自一九八七年三  
月八日起至一九九〇年三月七  
日止為期三年茲此約定之

中華民國台灣省台中縣

台中港區扶輪社

社長

鮑國器



日本國山形縣鶴岡市

鶴岡扶輪社

社長

山口篤之助



中華民國七十六年二月十三日  
日本昭和六十二年二月十三日

又、日本のロータリーが単独に創設した米山奨学金委員会の活用についても十分に御検討されるようおすすめ致します。この事については、後刻講話の形で、この道専門の当クラブの会員である石黒パストガバナーから申し上げる予定でありますので、ご参考にしていただけましたら幸いと存じます。

以上、私の祝辞を閉じるに当り、鮑会長さんはじめ会員の皆様の心温まる御歓迎に対し、重ねてお礼を申し上げます。

最後になりましたが、本日は青梅ロータリークラブの皆さまとも御同席出来ました事を大変光栄に存じています。どうぞお帰りになられましたら、皆さまに宣しくお伝えいただきたいと存じます。

台中港区R.Cの益々の御発展と会員の方々の御健勝と、青梅R.Cのご発展と御健康をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。 謝々

# 米山奨学会は中日親善の架橋となるか



米山奨学会理事  
R.I第253地区P.G

石黒慶之助君

国あり、連合国の意のままに処理される開闢以来の破局を迎えました。

その時、蒋介石総統閣下は「怨みに報いるに徳を以てせよ」と申され、青天白日旗のような君子の徳を示されました。例えば、

- (1) カイロ会議では  
天皇陛下をシベリア追放とか絞首刑を主張した連合国側の主張をしりぞけ、天皇制は日本国民が決すべきで他国が干渉すべきでない」と申された。
- (2) 日本の軍事占領については連合国側は中国、米国、ソ連の分割統治を提案されたが、戦争で最も大きな被害を受けた中国の蔣総統閣下は、日本本来の国土は一括アメリカの統治にまかせ独立国として認めるべきで

あり、世界平和のために貢献させたいと主張された。よって分割統治がまぬがれた。

- (3) 封日賠償金の請求を放棄する

フィリピンは80億ドルを要求したが、5億5千ドルで妥結する。最も損害を受けた中華民国とアメリカは賠償金を放棄した。

このように日本再生をうながして下されたのは、亡き蒋介石総統閣下と貴国民であります。神にも似た仁徳の東洋精神をお示し下さいました。この大恩ある中華民国との国交は中共との関係より政治的に断交していることは、まことに残念断腸の思いであります。

しかし、日本国民の感情は青天白日旗を尊敬し、貴国に親しみを持ち、恩義は決して忘れておりません。私共が貴国に感謝する心として姉妹クラブの締結や心の友を沢山持っております。有難いことです。感謝する心が世の中で満足と幸福をもたらします。

台中港区扶輪社  
鶴岡ロータリークラブ  
姉妹クラブ締結継続同意書

国際ロータリー第三四六地区中華民国台中港区  
扶輪社と第二五三地区日本国鶴岡ロータリークラブ  
とは一九七五年三月八日姉妹クラブ締結に関し  
双方合意の上同意書に調印しました  
右締結同意書により両クラブ間の第五期姉妹  
クラブ締結有効期間を一九八七年三月八日より  
一九九〇年三月七日まで継続することに  
同意します

一九八七年 二月十三日

中華民國八台湾省台中縣  
台中港区扶輪社

会長

鮑國器

日本国山形縣鶴岡市  
鶴岡ロータリークラブ

会長

山口篤之助



本日、国際ロータリー第346地区台中港区扶輪社と第253地区鶴岡ロータリークラブとの姉妹クラブ提携結盟式を締結されたことは、両クラブの親睦のためまことに慶賀に耐えません。私は台湾が大好きです。

今回で4回目の貴国訪問ですが、訪問のたび、貴国のすばらしい発展に驚き、皆様と共に栄える両国の将来性を喜んでおります。

本日、青天白日旗のもと高齢の私にスピーチの機会を与えられたことを無上の光栄と思います。青天白日とは、明朝の頃洪自誠が菜根譚という本に「君子の心事は天青く日白く、人をして知らざらむべからず」と申され、これは君子の心を現しているものと信じます。

今から42年前（1945年8月15日）中華民国の皆様が大変ご迷惑をかけた太平洋戦争が日本国の大敗によって終結しました。日本も中華民国も疲れ切った困窮の中に苦しんだのです。日本は無条件降伏で

蒋介石総統が若い頃、日本の陸軍士官学校で学んだことが親日的となっておられたので、戦後の処理に多大な好意を示され、日本の将来を案ぜられたか判りません。青少年時代の留学は視野を広め、その国への理解を強く深めます。現在私の手元に米山奨学生を3人抱えております。高雄の劉振源君、南投縣竹山鎮の蔡冠邦君、雲林縣台西郷の丁敏正君の3名であります。今年度地区の割当は2名ですが、既に私の手元に貴国留学生3名の応募申し込みを受けております。奨学金は毎月大学生には10万円、大学院生には11万円宛2ケ年間学費を支給されます。米山奨学生は既に25ヶ国3,977名をお世話し、中でも中華民国は最も多く、2,107名の奨学生をだしています。今年度は全国で380名の奨学生を採用しておりますが、次年度は500名を採用する予定です。政府資金を使えない台湾の学生には米山奨学会が大いに役立っていることを認識願います。日本政府もこれを喜んでおります。

米山奨学会の資金は、日本のロータリアン約十万人全員が、ロータリー財団やポリオプラスなどの他に、米山奨学会へ独自に献金し、東南アジア出身の日本留学生への支援を行っている日本だけの特異な奨学金制度であります。それは、1920年アジアにロ

ータリーを初めて導入した東京ロータリークラブの初代会長、米山梅吉氏（1946年、78才3ヶ月で物故）の偉業を記念し、1954年より始められた育英事業であり、1967年（昭和42年7月1日）に財団法人ロータリー米山記念奨学会として正式に発足しました。見返りを欲しないロータリーの国際奉仕と考えて頂ければ幸いです。

私は過去にお世話した貴国より、現在3名の留学生の他にも蔡慶隆君、イランのチェバリ・エスマイル君、マレーシアのタソ・ブン・リャン君とは今尚文通を続け、互いに信頼感を深め、親しく友情を交わしております。それは私の生甲斐であり素晴らしい幸福であります。人間は独りでは生きられません。世界中の人々から生かされているのだと考えます。米山奨学生が貴国と日本との友情の架橋となって、永遠の平和に貢献していることは間違いありません。世界平和は吾々の強い願望であります。元R.I会長ポーマー氏は「平和は戦争による勝利に勝る勝利であると申されました。

最後に、親愛なる台中港区扶輪社の皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、長く変らぬ友情に心から感謝し、私のスピーチを終わります。

## ゲストスピーチ

### 庄内農業活性化への道

加藤 功氏



我が国は、円高が内需拡大によって繁栄をもたらすか、あるいは不況になるかの選択がせまられている状況下で、庄内農業の活性化又は構造再編の課題は、内需拡大志向の農業と他産業との均衡のとれた産業構造への転換を必要条件として、農業・農村社会の変貌過程で生じた都市化・工業化、過疎化、農村人口の高齢化、兼業農家の増大と滞留、農家経済の自給率の低下といったさまざまな問題に対処するものであ

る。更に、今後、農業・農村のあり方と関連して把握されるものであって、さしあたって、庄内農業活性化の条件整備としての道路や土地基盤整備、ライス・センターなどの近代的施設の整備、就業機会の拡大、総合的環境整備、その他、伝統的文化の保存と都市住民との交流促進があげられる。いずれにしても、社会進歩のなかで農業を正しく位置づけ、人類史的な共通課題として捉える必要がある。

庄内農業活性化又は構造再編の目標は、第1に庄内の農業者の総合的福祉の向上と公正化にある。それには農業生産を振興し、農業生産所得と個別農業経営の純収益の増大によって、農家所得で生活の向

上と安定が得られるように、生産、流通、そして生活環境と社会関係を構築する。第2に庄内の農業者の総合的福祉の向上に立って、国民食糧の安定供給、地域経済の活性化、自然資源、環境の保全という公益を実現することにある。

個別農業経営発展の方向は、農業で自立できる経営の育成が究極の基準としながらも、現実には男子基幹従事者のいる中核的自立経営農家を、地域農業振興の主軸に据えざるを得ない。それには推進母体としての自治体、農協、その他農業関連産業の役割・機能が大いに重視される。

さて、昨今の庄内農業の構造変化についてみると、まず、農地法下の自作農的土地所有構造から、請負耕作、作業や経営受委託や農用地利用増進法下の賃貸借による利用権設定などによって借地農的土地所有構造に変化しつつある。

次に、農業生産力構造では農業経営は他地域よりも青壮年者労働力によって担われているものの、総兼業化の進行により高齢者、婦女子労働力が多くなり、後継者難など健全な農業経営の確立が課題になっている。それに対応するかのように、農業の近代化がなされ、土地基盤の整備による水利化、乗用トラクター、田植機、自脱型コンバインなどを装備した中型機械化一貫作業体系にみられる機械化、トンネル、ハウス栽培などの施設化、肥料、防虫害、除草剤などの化学化が進んだ。更に、ササニシキなど良質多収品種の作出や新しい栽培技術、そして集団的生産組織の補完機能によって生産効率の向上が行われてきたことは事実である。しかし、庄内農業は

米生産調整によって稲単作から脱却し、大豆、麦をはじめ、地域特性を活かした特産物の導入によって複合生産体系の確立が課題となっている。

従って、今後、庄内農業活性化の道では、1つは活力ある経営主体を確立し、産業として自立しうる農業をめざすこと。中核的自立経営農家が主軸となって、規模拡大によりコスト・ダウンをはかり、供給力を強化するとともに、高齢者・婦女子専従農家や自給・定住者農家がそれぞれの生産意欲に応じて役割、機能を担って、地域全体の農業振興をはかっていくことである。2つは、農業生産において、水田農業確立対策下でササニシキ、庄内32号などの米の超高品質、低コスト生産を推進すること。農地の流動化により利用権設定で作業・経営受委託を進め規模拡大によってコスト・ダウンをはかり、ライスセンターの導入、整備で品質の高位平準化、作業受委託の育成強化、機械の共同利用を進め、土づくりによる安定多収を達成する。その他、地域特性を活かした特産物の導入など、商品性の高い野菜・果樹を振興し、またフライト型農業を志向し、複合経営を形成し、地域複合生産体系の確立をはかっていくことである。3つは魅力ある農村社会の建設である。豊かで活力ある住みよい農村社会を形成するために農業者とともに地域住民の総参加によるむらづくりに取り組み、地域資源を活かした地域産業の育成、安定した就業機会の創出、快適な居住環境、都市と農村との交流、更には国際交流をはかって開かれた豊村社会、国際化に対応した地域社会を形成していくことである。

## 会長報告

山口篤之助 君

1. 台中港区R.Cと第5回姉妹クラブ統盟式に石黒P.Gご夫妻を始め、多くの会員ご家族のご参加をいただき、去る2月11日羽田空港を出発、13日、台中市の全国大飯店でガバナー張騰輝先生を始め石黒P.Gの地区大会にR.I会長代理としてお出になられました英先生、並びに石黒P.Gの同期のP.Gの諸先生、近隣クラブ会員、台中港区の会員、ご家族、青梅クラブの会員、ご家族等180名。多くの方々のご出席のもと、午後6時点鐘で約1

時間半にわたり厳粛に行われました。鶴岡市長のメッセージを吉野会長エレクトに代読をお願いし、石黒P.Gからは記念講演として「米山奨学会は中日親善の架橋となるか」の演題で講演されましたことが印象的であり、無事大役を果して参りました事をご報告願います。又、懇親会は飯店の地下大ホールで盛大に行われ、演芸の飛び入りも出て大へん賑いました。

観光も台湾の最南端のガランピ灯台まで足を伸ばし、連日晴天に恵まれまして、真夏のような暑さの中で、事故も無く楽しい旅行を続ける事が出来まし

た。ゴルフ組の一行も真赤に陽焼けし、連日楽しいプレーをして来られたそうで、台中港区R.C会員とは益々友情を温め、親睦を深めてまいり、大変お世話になって参りました。

15日夕方無事羽田空港へ到着。昨日それぞれ家庭へ帰りました。交通公社の富田さんには大変ご苦勞をおかけ致しました。尚、詳しいご報告は、佐々木名カメラマンのスライドを見せていただきながらご報告とさせていただきます。一行の皆様、会員の皆様のご協力に重ねてお礼を申し上げます。

台中港区R.Cより、クラブへお土産として上敷(大甲草)をいただきましたので、ご披露致します。

### 幹事報告

松田士郎君

#### ○クラブ協議会のご案内

日時 2月24日(火) 午後4時

場所 昭和町 住よし

登録料 3,000円

懇親会 午後5時30分より

多数ご参加下さい。

#### ○ファイヤー・サイド・ミーティング

午後6時、京寿司で行います。

登録料 2,000円

#### ○2月24日(火)の例会より、例会場所が産業会館5階ホールより物産館3階ホールにもどります。

### お知らせ

矢部 晋吾

#### ○鶴岡市社会福祉協議会会長・斎藤第六殿よりNHK福祉セミナーのご案内

日時 2月28日(土)

午後1時30分開会

午後4時閉会

場所 鶴岡市産業会館5階ホール

講演 「高令化社会を生きる」

秋山太一郎氏(荘内日報社社長)

### スマイル

張 紹淵君 続盟式に同伴出来なくて。

石川寿夫君

若生恒吉君

佐々木結彦君

松田士郎君

高田耕助君

佐藤 衛君

阿蘇司朗君

毛呂健士君

続盟式を無事終えて。

商工会議所議員と役員の懇親マージャン大会で優勝したので。

前坂本局長に個人的に撮影を依頼していた当幼稚園記録(61.4~7)フィルムが完成。それを見、感無量だったのと、坂本さんの御冥福を祈って。

創業75周年記念パーティー無事終了したので。

NTT株式公開売出し上場の際して御世話になった御礼と、今後の成長を期待して。

卒の分NTT株式抽せんに当たったので。

本年度交通安全協会より優良運転者の表彰を受けたので。

### ビジター

鶴岡西R.C 三井盾夫君

### 米山奨学会協力金

計 10,079円(1ドル156円)

